

# 学校だより

第2号



平成29年4月30日発行

## 今こそ「学校・家庭・地域」の連携を

校長 松田 厚

新緑がまぶしい季節となりました。

前回の第1号で、ご挨拶をしていなかったことに気づき、あらためて赴任のご挨拶を申し上げます。

千葉県教育委員会から新任校長として着任しました松田です。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで館山聾学校（聴覚）を初任に、四街道特別支援学校（病弱）、小学校、市川特別支援学校（知的）等に勤務してきました。様々な障害種や学校を経験してきましたが、自分が受け持った子どもが変容・成長していく時の喜びはどの学校でも変わらず、それがやりがいとなってきました。

本校においても、職員と保護者が子どもたちの一つ一つの変容を共に喜び合う、そんな姿がたくさん見られる一年にしたいと思います。



本日行われた、授業参観や保護者会、PTA総会ではお忙しい中、多くの保護者のご参加をいただき、感謝申し上げます。過日、松戸市で傷ましい事件が発生してしまいました。まだ真実は明らかではありませんが、保護者や地域の皆さまが、日頃から子どもや学校のために真摯に活動をしていただいている中、今回の事件が発生してしまったことは残念で仕方ありません。報道では「もう誰を信用すれば・・・」などという声も聞かれます。しかし、その一方で、1月に島根県で集団登校の見守り中に車にはねられ、亡くなられた地域のボランティアの方は、事故直後も一緒に事故に遭った子どものことを気遣っていたそうです。このように、最後まで子どもたちのために尽くされた方もおります。

先日、県立学校長の会議で、教育長から「今回の事件で萎縮することなく学校・家庭・地域の連携を強めて欲しい」という話がありました。

今年度のPTA活動や地域の行事においても、学校としてできる限り協力・連携をしたいと考えております。

「すべては子どもたちのために」

これは、千葉県教育委員会のスローガンです。

連携の目的はここにあります。

